

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

鶴見

小学校

児童数

63

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.50	17.93	33.96	40.93	39.46	9.41	153.25	20.36	51.96
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.08	18.43	42.15	38.12	27.83	9.82	140.17	13.34	53.71
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

男子は8種目中5種目において大阪市、全国の平均を上回ることができた。特に立ち幅とびでは、大阪市より5ポイント、全国より1.8ポイント以上上回ることができた。女子は8種目中3種目において大阪市、全国の平均を上回る結果となった。特に長座体前屈では、4ポイント以上全国の平均を上回ることができた。一方で男女とも、20mシャトルランでは、大阪市、全国の平均を7ポイント以上下回る結果となった。体力合計点においては、男女とも大阪市の平均は上回ったが、全国の平均にはわずかに至らなかった。児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、男子は89%以上、女子は74%以上の児童が肯定的な回答をしていた。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が11%となり、大阪市の13%より低い数値となり、1週間の総運動時間は大阪市よりも多い結果となった。女子は22%で大阪市より高い数値となり、総運動時間に課題が見られた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで、長座体前屈の種目において課題があり、柔軟性を高める必要があった。その課題解決にむけ、運営に関する計画において、柔軟性を高めることを目標に掲げ取り組んだ。運動委員会による柔軟に関するクイズ、ポスターでの啓発、各学年クラスでの柔軟を意識した体育科学習内での運動などを通して、柔軟に対する意識を高めた。その結果、男女とも長座体前屈では、大阪市、全国の平均を上回ることができた。さらに上を目指し、後期には、全学年で週1回ストレッチ体操をする時間を設け、取り組むことができた。本年度は、昨年できなかったなわとびタイム、かけ足タイムを感染対策を徹底した上で実施したことで、体力合計点の向上につながった。一方で男女ともに20mシャトルランでは、大阪市、全国の平均を下回る結果となったので、今年度実施した取り組みを継続すると同時に、それぞれの取り組みの期間を長くし体力向上につなげたり、やり方を工夫したりする必要がある。さらに、外遊びを促す声掛けを今まで以上に行い、体力の底上げをはかっていくことが大切である。